

途切れることなく育み続ける「三つのまごころ」

3学期の子どもたちは1月から年間のまとめを念頭に学習しています。しかし、机で勉強に没頭する時間だけではありません。芳野小学校には、芳野小学校だからこそできる活動があります。それらの活動も含めて、子どもたちは「『ことば』の心」「『学び』の心」「『健やか』の心」を自ら磨きながら過ごしています。

地域の皆様へ「『学び』の心」を



芳野コミセン祭りで代表学年が「芳野学」での学びを発信しました。4年生が野出春日神社に奉納される神楽、5年生が水俣学習等人権学習の成果を発表しました。将来のシビックプライドにつながる充実した発表でした。

季節を実感しながら「『ことば』の心」を



先日、子どもたちの登校時間帯に雪が降りました。子どもたちは大喜びして遊んでいます。雪と戯れるなどして季節を実感することは、豊かな感性を育みます。それが優しさ-「『ことば』の心」-の礎になっているのです。

人生の大先輩への思いやりを



本年度も高学年の子どもたちが、認知症サポーター養成講座を受けました。ささえりあ金峰の皆様からお年寄りの方の気持ちに寄り添いながら接する姿勢を学び、あらためてお年寄りの皆さんへの思いやりの心を抱きました。

みんなで一緒に「『健やか』の心」を



冬季恒例のなわとび集会週間でなわとびに励みました。なわとびは心肺機能等を高めます。また、体幹や関節を強くするそうです。健康づくりに効果的です。集会活動が、生涯スポーツのよさの感得につながればと思います。

上記記事中にある「シビックプライド」とは、地域や自治体に対する住民の誇りや愛着、そして地域社会に貢献する意識です。また、「思いやり」は文字通り相手を大切にできる心情です。これら心情面や健康面も含め、「三つのまごころ」を1年間のまとめの時期に育むことで、新学期において子どもたちがよりよく成長します。

4月になれば、全員が進級や進学をします。その前の卒業証書授与式や修了式をとおして、子どもたちが自分を見つめ、自分のよさを実感できる時期がやってきます。成長の節目を迎えるわけです。一区切りの付くこととなりますが、今後子どもたちには途切れることなく、徳知体「三つのまごころ」の調和のとれた子どもへの成長が続けばうれしいです。

私たち芳野小学校の教職員は、子どもたちの健全育成をめざし研究と修養に励み、すべての子どもたちの成長のために寄与してまいります所存です。



【御礼】二月七日のPTA主催校内ウォークラリーは本年度も大盛況でした。保護者の皆様、ありがとうございました。次年度以降も根付いていくことを願っています。